



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

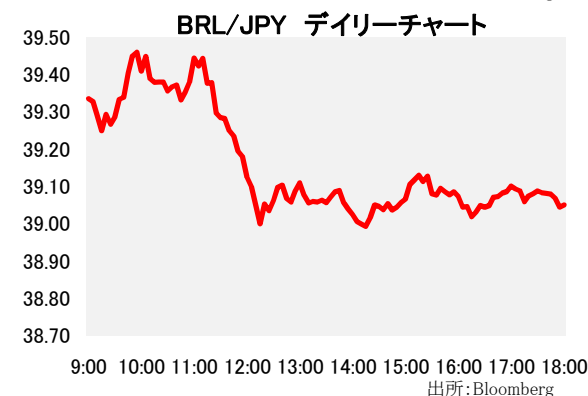
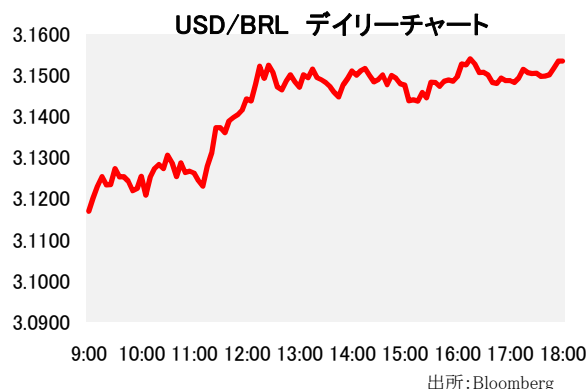
1. マーケット・レート

			5月20日	5月21日	5月22日	5月25日	5月26日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.0020	3.0380	3.0940	3.0970	3.1530	+0.0560
	BRL/JPY	Spot	40.42	39.83	39.30	39.24	39.05	-0.19
	EUR/USD	Spot	1.1094	1.1115	1.1015	1.0977	1.0875	-0.0102
	USD/JPY	Spot	121.35	121.04	121.54	121.57	123.13	+1.56
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.765	13.775	13.754	13.741	13.735	-0.006
	Future	1Year(p.a.)	13.701	13.737	13.694	13.669	13.665	-0.004
	On-shore	6MTH(p.a.)	1.478	1.575	1.661	1.653	1.618	-0.035
	USD	1Year(p.a.)	2.036	2.097	2.218	2.295	2.251	-0.044
株式	Bovespa指数		54,901	55,112	54,377	54,609	53,630	-979
CDS	CDS Brazil 5y		224.50	221.90	222.00	222.26	233.00	+10.74
商品	CRB指数		226.429	228.239	225.564	休場	221.723	-3.84

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FIPE CPI-週次	0.67%	0.70%	0.83%
FGV建設コスト(前月比)	0.55%	0.45%	0.65%
FGV消費者信頼感	--	85.1	85.6
経常収支	-\$6750M	-\$6901M	-\$5818M
海外直接投資	\$4300M	\$5777M	\$4263M
耐久財受注(前月比)	-0.50%	-0.50%	5.1%
新築住宅販売件数	508K	517K	484K
消費者信頼感指数	95.0	95.4	94.3



3. 要人コメント

トンビニ伯中銀総裁	ブラジルの投資は収縮している。 ブラジルは当面インフレが続く。 中銀は警戒を続けている。
-----------	--

4. トピックス

- 本日のレアルは高値となる3.1040で寄り付いた。朝方に出た、ルーラ前大統領がレヴィ財務相の更迭を支持しているとの報道を受けて、財政調整の後退懸念からレアルは寄付きから売りが優勢となった。さらに、米国の4月耐久財受注において、コア資本財受注が予想を大きく上回ったことを受けてドルが買われると、レアルは3.12台まで急落した。その後発表された米4月新規住宅販売件数、5月消費者信頼感指数などが軒並み予想を上回るとドル買いに拍車がかかり、レアルは安値となる3.1540を示現。その後は安値圏で揉み合い、結局3.1530でクローズした。
- 本日は強い米国の経済指標を受けて、ドル全面高の展開となった。ドル円は2007年7月以来の高値となる123.33を示現し、ユーロも約1ヶ月ぶりの安値となる1.0864を示現している。ドル高を受けて原油は割高感から売りが先行し、WTI先物7月限は57ドル台後半まで反落した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しく願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。